

滋賀県東近江市（国内 23 例目）の高病原性鳥インフルエンザ発生農場に係る
疫学調査チームの現地調査概要（令和 2 年 12 月 13 日実施）

令和 2 年 12 月 13 日に実施した現地調査により、以下のことを確認した。

1 農場の周辺環境

- ① 当該農場は、平野部の河川沿いに位置し、付近は雑木林に囲まれ、畑地が隣接している。
- ② 農場から約 100m の距離に河川が流れており、周辺には複数のため池が存在する。農場から最も近い約 1.2km の距離にあるため池には、オカヨシガモ 12 羽、ミコアイサ 2 羽が確認された。また、約 2.3km の距離にあるため池には、カルガモ 146 羽、ヒドリガモ 87 羽、コガモ 64 羽等、300 羽以上の水鳥類が確認された。
- ③ 当該農場には育雛舎 1 棟、大雛舎 1 棟、成鶏舎 2 棟で計 4 棟のケージ飼い開放鶏舎があり、発生時は育雛舎以外の鶏舎で、採卵鶏が飼養されていた。発生鶏舎は成鶏舎であり、農場入口側に位置する鶏舎であった。

2 通報までの経緯

- ① 管理人によると、発生鶏舎における 1 日あたりの死亡鶏は、12 月 9 日までは 3~5 羽で推移していたとのこと。
- ② 管理人によると、12 月 10 日には鶏舎の中央付近のケージで 5 羽程度の死亡鶏がまとまって確認されていたとのこと。12 月 11 日には鶏舎中央付近から入口側のケージに広がる形で 30~50 羽程度の死亡鶏がまとまって確認されていたが、12 月 9 日に発生鶏舎入口に設置した箱罾でアライグマが捕獲されており、野生動物による被害を疑っていたことから通報には至らなかったとのこと。
- ③ 管理人によると、12 月 12 日に 100 羽程度の死亡鶏が確認されたことから、家畜保健衛生所に通報したとのこと。
- ④ 管理人によると、12 月 11 日までは特定の列のケージで死亡鶏がまとまって認められたが、12 月 12 日には別の列のケージでも死亡鶏が認められ、周辺の鶏は元気が消失していたとのこと。その際、肉冠の異常等は気づかなかったとのこと。

3 管理人及び従業員

- ① 当該農場では 2 名の従業員が専属で管理を行っており、毎朝、鶏舎において鶏の健康観察を行うとともに、死亡鶏の回収を行っていた。
- ② 従業員が担当する鶏舎は決まっておらず、2 名の従業員はいずれの鶏舎においても作業する可能性があった。

4 農場の飼養衛生管理

- ① 管理人によると、従業員は農場専用の作業着と手袋、長靴を使用していた。また、発生鶏舎である成鶏舎の入口には踏み込み消毒槽を設置していたが、鶏舎に入る際の長靴や手袋の交換、手指消毒は実施していなかったとのこと。
- ② 鶏舎横には飼料タンクが設置されているが、当該タンク上部には蓋が設置されており、タンク内への野鳥等の侵入やタンク内の飼料への野鳥の糞等の混入の可能性は低いと考えられた。
- ③ 管理人によると、飼養鶏への給与水は、地下水をくみあげ、当該農場専用の貯水タンクを通じて、各鶏舎に供給されているとのこと。
- ④ 管理人によると、毎朝、健康観察時に回収した死亡鶏は鶏舎内の通路に積んでおき、1~2 日以内に農場敷地内に埋却し、埋却後は毎回土で覆っていたとのこと。埋却地には屋根や防鳥ネットは設置されていなかった。
- ⑤ 管理人によると、発生鶏舎である成鶏舎は通年で採卵鶏を飼養しており、ケージ列

ごとに日齢が異なっていたが、出荷後に空になったケージ列を動力噴霧器で消毒しているとのこと。

- ⑥ 管理人によると、普段から鶏舎入口に消石灰を散布していたとのこと。
- ⑦ 管理人によると、車両消毒として、毎日、農場入口に消石灰を散布していたとのこと。
- ⑧ 成鶏舎の左右及び奥の外壁には金網とその外側の上下にロールカーテンが設置されている。外壁の外側には、防鳥ネット(マス目は約2.0×2.0cm)が設置されていた。また、鶏舎の天井に換気扇が設置されていた。管理人によると、発生時には、ロールカーテンは閉じており、換気扇は停止していたとのこと。

5 野鳥・野生動物対策

- ① 発生鶏舎の外側には防鳥ネットが設置されていたが、一部に破損や隙間が認められた。
- ② 発生鶏舎の側面の金網には野生動物が侵入したと思われる破損が確認された他、鶏舎側面上部の換気窓には金網が設置されておらず、壁面には小型の野生動物が侵入可能な3cm程度の隙間が確認された。
- ③ 調査時、農場内にはスズメが多数観察された。管理人によると、鶏舎内でスズメやネズミを見かけることはたまにあり、殺鼠剤の設置等のネズミ対策を行っているとのこと。
- ④ 管理人によると、農場周辺ではアライグマ、タヌキ、イタチ及びノラネコ等を見ることがあるとのこと。12月に入ってから鶏がケージから引きずり出されていた事例があり、野生動物による被害と思われるとのこと。